

Press Release

2022年9月22日

報道機関 各位

東北大学

「東北大学ギャラリーひすとりあ」のオープン及び 片平キャンパスツアーの開催

【概要】

東北大学では、創立 115 周年・総合大学 100 周年というメモリアルイヤーを迎え、2022 年 10 月 1 日(土)に記念式典・記念祭を行います。これと併せて、「東北大学ギャラリーひすとりあ」を片平まなびの館(片平キャンパス本部棟7)にオープンいたします。

同ギャラリーは、本学学術資源公開研究センター及び埋蔵文化財調査室と連携し、本学の歩んできた歴史やさまざまな研究業績などを展示しています。一般公開を行う予定で、大曜日と木曜日の12時~16時に開室しており、ご自由に見学できます。オープン記念として、片平キャンパスツアー(登録有形文化財をめぐるツアー)を10月2日(日)に開催いたします。10月1日(土)の記念式典では、本学の成り立ちをご紹介いたしますが、キャンパスの歴史をより深くご理解いただけるツアーとなっております。ツアーの際には同ギャラリーの見学も可能ですので、ご参加の程お待ちしております。

【東北大学ギャラリーひすとりあ】

(開室情報)

- ・火曜日と木曜日の12時~16時(祝日、年末年始等を除く)
- 見学無料

(Web ページ)

https://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/cca/index.html



【片平キャンパスツアー(登録有形文化財をめぐるツアー)】

日 時:2022年10月2日(日) ①10:00~11:00、②15:00~16:00

集 合 場 所:東北大学片平まなびの館(本部棟7)

事前申込:不要。各回、時間までに集合場所へお越しください。

見学コース:2021 年度に登録された登録有形文化財を中心にご案内いたします。

【建物外観】



【展示内容】

○展示室1:足元に眠る歴史

東北大学キャンパスの地中には、先史時代まで遡る遥かなる軌跡が眠っています。キャンパスの発掘調査で明らかとなった歴史を紹介しています。



○展示室2:モノが語る東北大学

歴史を刻むなかで作られたさまざまな遺物や眠っていた文化財など片 平地区と川内地区に残されたモノから大学の歴史を紹介しています。



○展示室3:東北大学の登録有形文化財

東北大学は登録有形文化財の建造物やその記録となる図面資料について全国有数の規模を誇っています。東北大学の知の足跡、学都仙台を象徴する建物や景観の魅力を紹介しています。



○展示室4:旧理学部生物学教室と植物園

東北大学ギャラリーの建物は、元々、大正時代に創設された旧理学部生物学教室の建物です。ここでは黎明期の生物学教室とそこに多大な影響を与えたハンス・モーリッシュ、そして東北大学植物園を紹介しています。



○展示室5:西澤潤一と東北大学

第 17 代総長を務めた西澤潤一先生は生まれたときから東北大学と関係があり、その生涯のほとんどを東北大学とともに過ごしました。ここでは西澤先生の生涯を紹介しています。



○展示室6:金研のあゆみ

金属材料研究所(金研)の設立からの歴史や発明品のほか、文化勲章を 受章した初代所長の本多光太郎先生、第3代所長の村上武次郎先生、第 6代所長の増本量先生の業績を紹介しています。



○多目的室1:(特別展示) 女子学生の誕生

1913年(大正 2)8月、3人の女性が東北帝国大学への入学が許可され、 日本で初めての女性「大学生」が誕生しました。時代を切り拓いた3人 の女子大学生の入学、学生生活、卒業後の活動及びその後に与えた影響 を紹介しています。



【アクセス】



○徒歩

JR 仙台駅前 (イービーンズ前)を南へ約 1 分、「ホテルモントレ仙台」角を右折し、柳町通を西へ約 15 分。

○地下鉄

東西線「青葉通一番町」駅(南1番出口)から徒歩約10分。

○バス

JR 仙台駅(西口)バスプール乗り場から、

仙台市営バス⇒仙台駅西口バスプール 11 番のりば

・八木山動物公園駅行(霊屋橋経由 701 系統)

宮城交通バス⇒仙台駅西口バスプール 12 番のりば

- ・山田自由ケ丘行(八木山動物公園駅経由)
- ・仙台南ニュータウン行(八木山動物公園駅経由)
- ・長町駅行(松が丘経由)
- 1、2いずれかに乗車し、「片平丁小学校前」バス停で下車(約10分)、徒歩約2分。

【問い合わせ先】

東北大学総務企画部総務課総務第二係 担当 西川、福士 電話 022-217-4812、022-217-6041

Email:gen-som2@grp.tohoku.ac.jp